

平成27年度 第9回教育研究評議会議事録

日時 平成27年12月16日(水) 14:45～16:45
場所 事務局棟5階大会議室
出席者 伊東幸、石井、木村、東郷、前田、柳澤、丹沢、伊東暁、澤渡、鈴木、
今野、寺村、谷、酒井、藤井、塩尻、加藤、佐古、中山、糠谷、鳥山、
渡邊、中村、三村、朴、澤田の各評議員
欠席者 菅野委員
陪席者 鈴木、櫻本の各監事
阿部、青木の各学長補佐

I 議事録の承認について

平成27年度第8回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

なお、議長から、第8回本会議で承認された「第7回教育研究評議会議事録」について、その後軽微な修正を要することが判明したことの説明があり、同議事録の修正案が提示され、審議の結果、修正案を承認した。

II 審議事項

1 静岡大学学則の一部改正について

議長から、カリキュラムの多様化に対応するための国立大学法人静岡大学学則の一部改正について提案があり、石井委員から資料1により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、学部等の授業科目の改正において、学部のみで審議されている現状と次年度に学生募集を開始する地域創造学環の学生の受講を鑑みて、今後は、全学教育基盤機構における会議で審議することとしたい旨を次回企画戦略会議において報告する予定であるとの発言があった。

2 静岡大学学術院規則の一部改正について

議長から、電子工学研究所又はグリーン科学技術研究所における体制の強化を図るため、学長が特に必要と認めた若手教員に研究所を主担当として、一定期間研究に専念させることを可能とするための静岡大学学術院規則の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、教員の学術院所属に伴い、従前創造科学技術大学院や研究所に置いたコア・サブコアの制度は廃止となり、他の部局と同様に主担当・副担当として整理されることとなる旨の補足説明があった。

3 静岡大学単位認定等に関する規程の一部改正について

議長から、授業料等の未納付により除籍された者の未納期間における授業科目の単位認定を取り消すための静岡大学単位認定等に関する規程の一

部改正について提案があり、石井委員から、資料3により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

4 静岡大学再入学に関する規程の制定について

議長から、学則第46条に規定する除籍者の再入学にあたり、未納分の授業料等の納付を義務付ける等の必要な事項を定めた静岡大学再入学に関する規程の制定について提案があり、石井委員から、資料4により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

5 情報学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについて

議長から、平成28年度の改組等に伴う情報学部のディプロマ・ポリシーの改定及び大学機関別認証評価訪問調査における指摘等を踏まえた同学部カリキュラム・ポリシーの改定について提案があり、酒井委員から、資料5により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

6 総合科学技術研究科のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについて

議長から、大学機関別認証評価訪問調査における指摘等を踏まえた総合科学技術研究科のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの改定について提案があり、佐古委員から資料6により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

7 静岡大学創造科学技術大学院長等選考規則の一部改正について

議長から、創造科学技術大学院長の選考に係る被選挙者の範囲の変更に伴う静岡大学創造科学技術大学院長等選考規則の一部改正について提案があり、渡邊委員から資料7により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、三村委員及び糠谷委員から、研究所等の主担当教員や学部等の評議員等が院長等候補者に選考された場合の取り扱いについて質問があり、議長及び渡邊委員から、各ケースを個別に規則に落とし込むことはできないが、選考にあたっては、各教員の現状又は今後の職階を踏まえて配慮されることと想定している。また、部局長等が多数交代する場合においては、全学的な調整が必要となる旨の説明があった。

8 静岡大学国際交流会館規則の一部改正について

議長から、静岡国際交流会館の移設等に伴う静岡大学国際交流会館規則の一部改正について提案があり、鈴木委員から資料8により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、糠谷委員から、新会館の入居期間について質問があり、鈴木委員から、入居期間については別規程で定めているところであるが、新会館においては、現入居期間を延長することを考えている旨の説明があった。

9 焼津未来創成総合戦略の推進に向けた連携に関する協定について

議長から、焼津未来創成総合戦略の推進に向けた連携に関する協定について、資料9により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

10 領域・部局における教員審査基準について

議長から、10月の本会議で審議された領域・部局における教員審査基準に係る理学領域等の追加基準について提示があり、塩尻委員及び石井委員から資料10により説明があった後、審議の結果、文言を一部修正することを踏まえ、原案どおり承認した。

なお、塩尻委員から、本会議前に開催した全学人事管理委員会における委員からの指摘については、今後学部・領域内で検討し、全学での基準調整時に改めて示したい旨の補足説明があった。

11 平成27年度学位記授与式及び平成28年度入学式について

議長から、平成27年度学位記授与式及び平成28年度入学式について提案があり、総務部長から資料11により説明があった後、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、平成27年度第9回企画戦略会議（H27.12.9開催）について、資料12により報告があった。

2 平成27年9月修了者数について

石井委員から、平成27年9月の学位授与者数について、資料13により報告があった。

3 平成27年10月入学大学院入学者入学試験実施状況について

石井委員から、平成27年10月入学の大学院入学者入学試験実施状況について、資料14により報告があった。

<議事において確認された事項>

- ・糠谷委員から、アジアブリッジプログラムについては定員内の扱いとなるのかとの質問があり、石井委員から、同プログラムは教育プログラムであるため、各部局の定員内での扱いとなる旨の説明があった。
- ・議長から、総合科学技術研究科の一部の専攻やコースにおいて、定員充足率が超過している又は十分に満たしていない現状について問題提起があった後、石井委員から、研究科における定員充足については、学部ほど厳しく指摘されることはないが、同様の状態が長期的に続いた場合には、文部科学省から、定員の見直し等の指摘を受ける恐れがあるとの補足説明があった。

- ・櫻本監事から、工学専攻の一部のコースが定員を大きく上回っている現状について、教育の質を担保できるのかとの質問があり、佐古委員から、特に問題はない旨の説明があった。

4 就職相談状況について

丹沢委員から、平成27年度の就職相談状況とその傾向について、資料15により報告があった。

5 平成28年3月卒業・修了予定者の進路状況について

丹沢委員から、平成28年3月の卒業・修了予定者の進路状況について、資料16により報告があり、特に状況の把握ができていない学生について、状況把握に努めていただきたい旨の要請があった。

<議事において確認された事項>

- ・寺村委員から、部局別内訳の昨年同期比の記載について、正確性を期していない旨の発言があり、今後の同報告時に対応することとした。
- ・丹沢委員から、「現在も就職活動中」の数字には、内定を受けているが引き続き新たな就職先を模索している学生も含まれるとの説明があり、一部報道で取り上げられている「オワハラ」の傾向は見られていない旨の説明があった。

6 カールスルーエ工科大学（ドイツ連邦共和国）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、カールスルーエ工科大学との大学間交流協定の締結について、資料17により報告があった。

7 カウナス工科大学（リトアニア共和国）との大学間交流協定の締結及びダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について

鈴木委員から、カウナス工科大学との大学間交流協定の締結及びダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について、資料18により報告があった。

8 マレーシア工科大学（マレーシア）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、マレーシア工科大学との大学間交流協定の締結について、資料19により報告があった。

9 テイラーズ大学（マレーシア）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、テイラーズ大学との大学間交流協定の締結について、資料20により報告があった。

<議事において確認された事項>

- ・加藤委員から、協定締結時における著作権等の知的財産権の取り扱いについて質問があり、鈴木委員から、懸案事項がある場合には、法務

研究科の教員に協定内容を確認していただいている旨の説明があった。

1 0 学長選考会議における検討状況について

糠谷委員（学長選考会議副議長）から、学長選考会議における検討状況について、資料 2 1 により報告があり、今後の審議予定等について、口頭により説明があった。

1 1 電子工学研究所及びグリーン科学技術研究所の教員体制について

議長から、平成 2 8 年度における電子工学研究所及びグリーン科学技術研究所の教員体制について、資料 2 2 により報告があり、三村委員及び朴委員から、人選の経緯や考え方等について、口頭により説明があった。

なお、鈴木委員から、資料 2 2 の名簿の一部の職階について修正意見があり、修正することとした。

< 議事において確認された事項 >

- ・加藤委員から、研究所の主担当教員のエフォートの全学的な基準や考え方について質問があり、議長から、部局における個別事情もあり、全学的に一律に定めることは難しいが、原則的には教育及び研究のみに従事し、管理運営等の他の業務のエフォートを極力求めないこととなる旨の説明があった。

1 2 教員採用等報告について

議長から、融合・グローバル領域への 2 名の教員の採用等について、資料 2 3 により報告があった。

IV その他

- 糠谷委員から、他の領域に所属し、学部を主・副担当する教員の当該領域会議への参画の在り方について質問があり、領域会議へのオブザーバーとしての参加だけでなく、将来的には議決権も必要である旨の発言があった。

以 上